

多面的・多角的に考える ～自分の考えを持ち、他者の考えを知る～

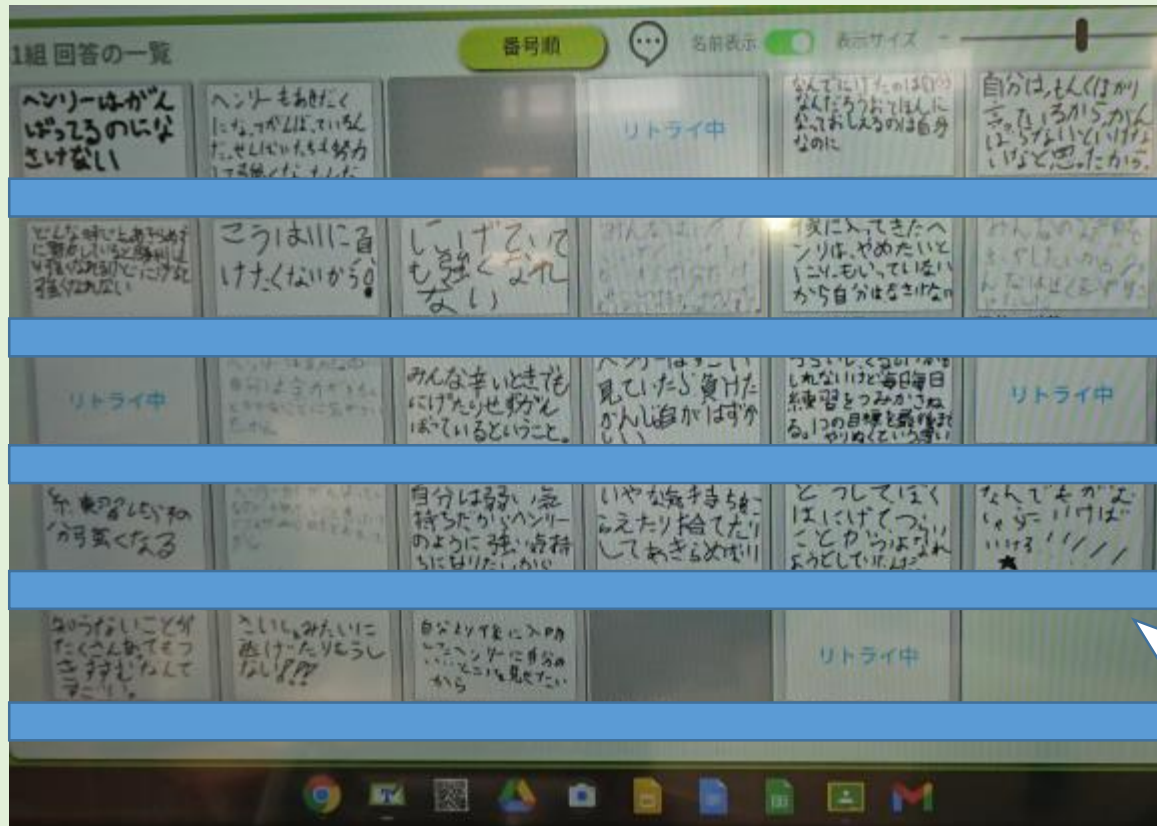
道徳的価値を多面的・多角的に考えるために、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することが求められます。

<小4・希望と勇気、努力と強い意志>

ICT活用のポイント

- ・クイズ番組のように全児童の記述を[見える化]できます。
- ・①自分の考えを持つ
- ・②他者の考えを知る
- ・③他者と議論する
- ・④全体で共有する

のステップをICTで一元化します。



序盤の「場面を問う」
ところでの記述です

最後に
【がむしゃらに打ち込む】
ために、どんな気持ち
が大切かを考えさせました

1人1台端末を活かしチャットで意見交流

限られた授業時間の中で、より多くの人意見を聞くためにGoogleClassroomを使用し、教室で手をあげて発表するのに加えて端末からチャットへ意見を書き込ませることで発言の機会を増やすことができた。

<第6学年「祖父母のためにできること」>

ICT活用のポイント

普段の授業で全体の中では発言しにくい児童も、積極的に参加できた。友達の意見に対するコメントが残り、子どもたちの考えがログに残る点が良い。授業者だけでは書き込まれた意見を拾いきるのが難しいため、TTが効果的。



クラスルームのストリーム ※氏名は削除

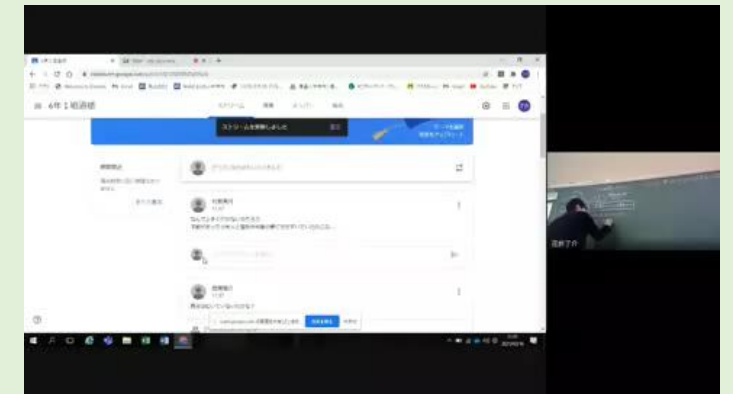
発表・書き込みを板書で意見をまとめていく

チャットを閲覧することは、意見を持っていない児童にとって考えるきっかけを与え、教師側にとっては、その後の授業展開を考える材料となる。板書では発表された意見と、チャットに書きこまれた意見をまとめていく。自分の意見をタイピングして投稿したり、コメントを返したりするには日ごろから文字入力の経験があることが必要。本校では学習の振り返りでまとめを入力し提出するようにしている。

<第6学年「iPS細胞の向こうに」>

ICT活用のポイント

発表とチャットのどちらも取り入れて無理をさせないようにする。友達の意見から考えが生まれることもある。多様な考えに触れる機会を持たせることができる。



チャットを見ながら、発表させながら、板書をする様子(動画:1分10秒)